

個人山行

奥羽山脈北部：秋田駒ヶ岳 1637m・森吉山 1454m

- ◆日程 2019年6月21日(金)～24日(月)
- ◆メンバー L：渡辺 豊

目的 ①秋田駒ヶ岳 1637mや森吉山 1454mの自然を観察する。
 ②角館や秋田市の街をゆっくり散歩する。

6月21日(金) 天候：曇 移動日

熊さん 田沢湖駅から徒歩 20 分の所に日帰り温泉がある。途中で庭先のご婦人に道を尋ねると車で送ってくれた。大きな湯船に手足を伸ばした。茨城県の人と話をした。45年以上秋田駒ヶ岳に通っているという。ある年駒ヶ岳の頂上で休んでいると後ろから肩をたたかれた。あなたの後ろに熊がいましたよ。ほんとかなーとも思った。後日、熊と男の写真が新聞に載り話題になった。それは紛れもない彼自身の姿だった。これって恐怖？それとも笑い飛ばしてしまう？・・・どっちだあー。

釜石小学校校歌 東北を旅すると 2011 年のことが思い出される。その大変な中で釜石小学校の校歌は地元の人たちみんなに歌われた。新幹線の中で釜石小学校校歌のことを考えた。井上ひさしのことを考えた。被災した人々のことを考えた。

釜石小学校校歌 【作詞】井上 ひさし 【作曲】宇野 誠一郎	いきいき生きる いきいき生きる ひとりですべて まっすぐ生きる 困ったときは 目をあげて 星をみあてに まっすぐ生きる 息あるうちは いきいき生きる はつきり話す はつきり話す びくびくせずに はつきり話す 困ったときは あわてずに 人間について よく考える 考えたなら はつきり話す しっかりとつかむしっかりとつかむ まことの知恵をしっかりとつかむ 困ったときは 手を出して ともだちの手をしっかりとつかむ 手と手をつないでしっかりと生きる
---	---

CT：鴨居 5:00 - 東京 6:30 - 仙台 11:30 - 田沢湖 16:30

6月22日(土) 天候：雨 秋田駒ヶ岳 1637m

名運転手さん 朝から雨。八合目登山口に着いても雨。乗って来たバスで戻ってもいいかなとも思った。「このバス何分後にでますか?」「10 分後に出るけどもう少し様子を見たら。バスは 30 分に 1 本出るから。せつかく来たのにもったいないジャン。」ジャン言葉に後押しされて登ることにした。名運転手さんに会えてよかった。心を動かされる言葉に出会えて良かった。

ミヤマダイコンソウ(群落) チングルマ(群落) イワカガミ(群落) マイズルソウ ハクサンチドリ
 ナナカマド ショウジョウバカマ コバイケイソウ(遠く霧の中に一本) キバナノコマノツメ
 ベニバナイチゴ ツマトリソウ ノウゴウイチゴ(白い花) ゴゼンタチバナ ハイマツの赤い実
 イワテハタザオ

CT：駒ヶ岳八合目小屋 8:00 - 片倉岳 9:00 - 阿弥陀池手前 10:00
 - 駒ヶ岳八合目小屋 11:20/11:50

6月23日(日) 天候：雨 森吉山 1454m

熊は阿仁 登山道の所々に熊よけの大きな金属の鐘や棒が置いてある。必ず鳴らしてくださいと言われた。阿仁ゴンドラの周りはブナの森だ。よく見るとブナのとっぺんの枝がみんな折られている。熊が実を食べるために折ったのだ。ゴンドラの近くに熊が来ることは今までなかったと地元の人が話していた。仙台駅で同年配のご婦人に声をかけられた。秋田の山に行ってきたと答えると、「私は、夏は北アルプスに行くわ。秋田は熊が出るからね。」…山は不二！熊は阿仁！！

エゾハルゼミ 秋田犬 (初めて見た オス成犬 大きくて立派) ゴゼンタチバナ アカモノ
マイズルソウ オオバクスマレ シラネアオイ (葉はギザギザだが花の直ぐ下の葉はまるい 蕾の花を包む葉だ 蕾が見られたら超ラッキー) ウラジロヨウラク アオヤギソウ ツクバネソウ エンレイソウ
オオシラビソ (匂いあり マタギは煙でお祓い 雷除け) ミツバオーレン オニゼンマイ (食不可)
ショウジョウバカマ タケシマラン ミミコーモリ ニッコウキスゲ ネバリノギラン
タニウツギ (ベニウツギ) オオバタケシマラン (希少) ササダケ (花) イワカガミ イワイチョウ (黄葉する) ヒナザクラ (東北を代表する花) ミズバショウ (冬眠後の熊が食べ毒素と共に排泄)
ベニバナイチゴ ゼンマイ ノウゴウイチゴ (イチゴの味がした) オクエゾサイシン

ミズバショウの葉 ミズバショウが咲いていた。冬眠から覚めた熊は、真っ先にミズバショウの葉を食べる。冬眠中にたまった身体の毒素をミズバショウの葉といっしょに排泄する。



「霧の秋田駒と阿弥陀池」

高見 順 霧の秋田駒をみていたら高見順の詩が思い浮かんだ。～「曇天」雲が多すぎて 雲が見えない 雲が多すぎて 雲でなくなっている～最後の文士高見順のお墓は鎌倉東慶寺の一番奥にあります。おまいりしたらワンカップのお酒を飲んでください。それが彼の遺言です。

オオシラビソと阿仁マタギ オオシラビソはほんのりと甘い香りを発する。心地よい香りだ。阿仁マタギが山に入るとき、このオオシラビソの枝をいぶして無事を祈る。家々では玄関に飾って雷除けにする。今でも行われている。

CT：ゴンドラ山頂駅 10:00 - 森吉山避難小屋 11:20 - 森吉山 12:20
- ゴンドラ山頂駅 14:00

6月24日(月) 天候：曇 移動日

やまや 山谷初男 (やまや はつお) 1933 年生まれ。昭和の個性派俳優。寺山修司の天井桟敷や蜷川幸雄、美輪明宏演出の舞台等に数多く出演した。この実力派俳優の実家が秋田県にある。JR 角館駅前徒歩一分の旅館「やまや」だ。ここに宿泊した。大女将自慢の漬物が食卓に並んだ。静かに武家屋敷が並ぶ角館の静かな旅館だ。山谷初男も元気になっていると若女将が教えてくれた。 (記：渡辺 豊)

CT：角館 9:30 - 秋田 10:30 - 仙台 16:00 - 東京-17:30 - 鴨居 18:40